

【愛媛県四国中央市】

校務DX計画



1. 次世代校務DX環境の構築

本市の校務ネットワークは令和2年度に閉域での仮想ネットワークとして構築したが、校務系・学習系ネットワークの統合により、クラウド環境の活用を前提としたゼロトラストに再構築することにより、教育データの活用が図れる環境を構築する。

また、現在オンプレミス型の統合型校務支援システムを導入しているが、クラウド利用型の校務支援システムにリプレースすることで、OSを選ばない環境下において校務を処理できる環境とし、業務の効率化を図る体制に改善する。

なお、クラウドデータの活用を前提とした教育情報セキュリティポリシーを令和6年3月にすでに策定しているが、実情に合わせOODAループにより意思決定し、PDCAサイクルで見直し、改善を行うこととしている。

2. ペーパーレス化の促進

(1) 学校と保護者間の連絡ツールをデジタル化

欠席連絡及び学級通信など各種連絡物をデジタル化するクラウドツールを令和6年度に導入したことから、デジタル化を一層進める。

(2) FAX・押印の廃止

FAXでの学校間及び学校と教育委員会間でのやり取りや押印については、一部を除いて既に原則廃止としている。

(3) 汎用のクラウドツールの活用

本市のプラットフォームとして活用してGoogle for Educationのアプリを活用し、会議でのペーパーレス化や教職員の情報伝達の即時性を重視したツールの活用を励行する。

(4) 校務での1人1台端末の活用

校長会、教頭会等の会議や職員会、各種研修会等で1人1台端末を活用しペーパーレス化を図るとともに、校務全般で端末の活用を模索する。

3. 課題

本市の四国中央市立学校文書管理規定においては、デジタル化に関する規定が定められておらず、今後改正を行いデジタル化の推進を図るとともに、適切な文書管理を行っていく必要がある。